

総合学術研究科における3つのポリシー【総合学術研究科】

■教育理念・目的

広い視野と応用実践能力を兼ね備えた「地域で活躍できる人材」「国際的に通用する人材」の養成を目指し、優れた研究者と高度専門職業人の養成機能を強化するとともに、社会人に対して高度な教育機会の確保を図ります。また、社会や時代の要請に柔軟に対応しつつ、地域に根ざした高度な研究を行い、その成果を地域に還元することを目指します。

◆学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

≪修士課程・博士課程前期≫

県立広島大学総合学術研究科は、所属専攻における教育課程編成方針に従い、人材育成目標及び学修成果に裏付けられた力を身に付け、所定期間を在学して必要とされる単位を修得し、修士論文審査及び最終試験に合格した学生に、所属専攻に応じて「修士（人間文化学）、修士（経営情報学）、修士（生命システム科学）、修士（保健福祉学）」のいずれかの学位を授与します。

≪博士課程後期≫

県立広島大学総合学術研究科は、所属専攻における教育課程編成方針に従い、人材育成目標及び学修成果に裏付けられた高度な力を身に付け、所定期間を在学して必要とされる単位を修得し、博士論文審査及び最終試験に合格した学生に、所属専攻に応じて「博士（生命システム科学）、博士（保健福祉学）」のいずれかの学位を授与します。

【人材育成目標】

広い視野と応用実践能力を兼ね備え、「地域社会で活躍できる力」や「国際的に通用する力」を持った人材（専門職業人、教育者、研究者等）を育成します。

【学修成果】

各専攻の定める教育課程編成方針に沿った高度な専門的知識を身に付けるとともに、それらを統合して思考する力、情報発信する力、他者と協働して課題解決に向かう力を身に付けていることに加え、各専攻で定められている学位基準を満たす学修成果をあげています。

◆教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

【教育の特色】

- (1) 最先端の研究者養成と高度専門職業人養成の統合を行います。
- (2) 幅広い視野を持つ人材の育成を可能にする科目履修方法を採用しています。
 - ア 専門的な研究に別の分野の知識を加えることで、新たな学際的な研究を萌芽させることを目的として、研究科内他専攻の様々な科目の履修を認めています。
 - イ 他専攻の教員から部分的に論文指導を受けることを可能としています。
- (3) 社会人の教育機会の確保のため、標準年限を超えて計画的に履修することができる、長期履修制度を導入しています。但し、外国人留学生を除きます。
- (4) 計画的な指導を実施するために研究指導計画書を導入しています。

【専門教育科目の構成】

4つの専攻に特色のある専門教育科目群を配置し、体系的に専門内容を修得できるように配置しています。

【専門教育科目の特色】

視野の広い専門職・研究者を育成するため、総合的・学際的な教育科目を配置しています。

【学修環境】

少人数教育を重視した演習や実験を配置し、高度な専門知識を修得できる環境を提供します。社会人にも対応した学びやすい教育環境となっています。

【DPとの関係】

高度な専門職業人や研究者を育成する授業科目を配置しています。

【学修成果の評価方法に係る基本的な方針】

授業科目ごとの「授業の目標」と「成績評価の方法」はコースカタログに示し、目標到達度をレポート、プレゼンテーション、討論への参加度、筆記試験による多面的評価基準により厳正に評価します。また、学位論文に係る審査は、各専攻において定めている「学位論文に係る評価基準」及び「学位論文審査及び最終試験実施要領」により審査します。

◆**入学者受入方針（アドミッション・ポリシー：AP）**

【求める学生像】

広い視野と応用実践力を備え、地域で活躍、また国際的に通用する力を身につけたいと考える人。

【入学者選抜の基本方針】

各専攻の定める基本方針に沿って選抜を行います。